

EU Indicators

欧州経済指標コメント：4月ドイツ消費者物価(確報)

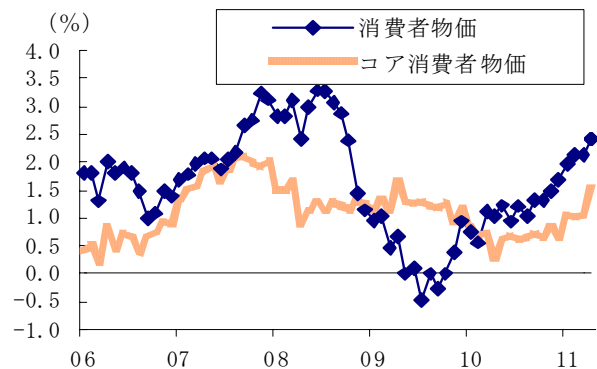
発表日：2011年5月11日(水)

～コア物価の上振れは特殊要因によるものだが、ECBは居心地の悪さを感じよう～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

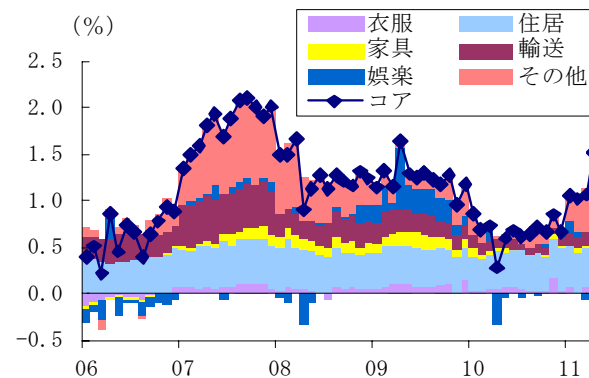
- 4月のドイツの消費者物価(国内基準)の確報値は前年比+2.4%と速報値から不変で、前月の同+2.1%から上昇率が加速(左図)。統一基準の計数(HICP)では速報値から上方修正(+2.6%→+2.7%)。16日に発表のユーロ圏全体の計数も速報値の+2.8%から上方修正される可能性がある。
- 費目別の内訳は、エネルギー価格の押し上げ寄与は前月並みにとどまったが、コア物価がこれまでの+1.1%程度から+1.5%へと大きく加速した。コア物価の加速は、振れの大きいパッケージ旅行が前年同月に大きく下振れした反動によるもので、来月以降は再び沈静化に向かうことが予想(右図)。
- ECBは6月9日の政策理事会で、上昇が足許で一服気味の商品相場の行方とともに、特殊要因剥落後の物価のトレンドを見極めたうえで、次回7月の会合での利上げの可能性を検討しよう。原油相場が4月末頃の水準でピークアウトして横這い推移を続けた場合、前年比上昇率は年末にかけて半減し、来年春先にはフラット圏に縮小する。その場合、来年前半の利上げ打ち止めの可能性が高まる。一方、2011年中のヘッドライン・インフレ率の上昇に伴い、2012年に入って物価上昇に見合った賃上げの動きが一段と加速する場合、ECBは利上げの手綱を緩めることが出来なくなる。

■ドイツの消費者物価(前年比)



注：コア物価は食料・タバコ・エネルギー除く
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツのコア消費者物価の要因分解(前年比)



注：住居・輸送費からは各々エネルギー価格を除いた
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの消費者物価(%)

		2010				2011							
		2Q	3Q	4Q	1Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
消費者物価	(前期比)	0.4	0.2	0.6	0.9	0.1	0.1	0.3	0.5	0.3	0.1	0.5	0.2
	(前年比)	1.1	1.2	1.5	2.1	1.3	1.3	1.5	1.7	2.0	2.1	2.1	2.4
コア消費者物価	(前期比)	0.5	0.7	0.7	1.0	0.7	0.7	0.9	0.7	1.1	1.0	1.1	1.5
食料品	(前年比)	1.3	2.8	3.3	2.8	3.0	2.9	3.4	3.6	2.7	3.4	2.2	1.4
アルコール	(前年比)	0.5	0.7	0.9	0.5	0.7	0.9	1.0	0.7	0.8	-0.1	0.8	1.0
タバコ	(前年比)	3.5	0.1	-0.3	-0.6	-0.1	-0.2	-0.2	-0.5	-0.5	-0.7	-0.6	-0.6
エネルギー	(前年比)	4.3	3.9	6.1	9.7	4.6	5.0	5.1	8.1	8.6	10.2	10.5	10.4
住宅用燃料	(前年比)	0.0	1.6	4.4	9.1	2.5	3.3	4.0	5.9	7.8	9.4	10.1	9.6
自動車燃料	(前年比)	12.8	8.4	9.3	11.0	8.7	8.4	7.0	12.4	9.9	11.8	11.2	12.0

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。
出所：ドイツ連邦統計局